



## より良き介護の社会へ

副代表理事 小 菅 文 雄

「介護の社会化」これからの福祉が変わる。昨今、全国の市町村では生活支援コーディネータや協議体が設置され、高齢者を支える地域づくりが活発に推進されている。

自立した在宅生活から、介護施設への直行ではなく地域の繋がり、即ち介護予防を目的としたサロンや近隣同士のお茶飲み、スポーツ、教養サークル等を最大限活用し、在宅生活を一日でも長く持続させることが望ましいとされている。国の予算の関係からも介護施設の入居基準も重度の要介護者に引き上げられ、「施設から在宅へ、療養病床から在宅医療」に切り替えられている。この事は2013年（平成25年）地域包括ケア制度が創設され「誰でもが住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最後まで続けたい」に応えるべき趣旨から、宮城県としては2015年10月地域包括ケアへ向け、県域の協議体「県地域支え合い・生活支援推進連絡会議」が設立、2025年を目途に推進されて来ている。

話は変わるが一昨年、県主催生活支援コーディネータ養成研修に参加し終了証書を

頂いた。

通算6カ月、11日間・84時間の長い研修であった。

「地域のお宝」の発見から、それらの展開・活用方法・協議体運営とコーディネータ基礎実践が主な内容である。参加者は地域包括支援センタ、市町村社会福祉協議会、地区民生委員児童委員協議会、居宅介護支援事業所、社会福祉法人介護施設等々の専門職が主な参加者である。

唯一、施設の調査機関である一万人市民委員会としての参加であった。主催者や参加者に一万人委員会の存在意義も伝わったかと思う。

今後のNPO一万人としての立ち位置を考えるに、地域包括ケアのコーディネータによる、活動費の収入源に繋がるかどうかは兎も角として、専門職である地域包括支援センタ、社会福祉協議会等との情報の共有を図りながら常に支援体制におき、「一万人コーディネータもここに有り」を諦めずに、福祉の最終章「介護の社会化」に向けた活動を展開していきたい。

# 「みやぎ介護人材を育む取組宣言認証制度」について

宮城県では昨今の介護現場の現状と将来を見据えた介護人材確保対策として、「多様な人材の参入促進」、「職員の資質向上」、「労働環境・処遇の改善」を三つの柱とした「みやぎ介護人材を育む取組宣言認証制度」を制定し、介護人材の確保・養成・定着に向けた取組を推進しています。

当会では宮城県から、その確認調査機関として委託を受け「介護サービス情報の公表」制度調査で「第1段階」認証の要件となる項目の確認調査を行っております。また、認証事務局からの委託で「第2段階」確認調査も行っております。

## 【認証制度の概要】

「みやぎ介護人材を育む取組宣言認証制度」の目的は次の3点です。

- (1) 介護事業者の取組を公表（見える化）することで、介護人材の参入を促す。
- (2) 介護事業者の職場環境のレベルアップ・改善を促し、介護人材の定着を目指す。
- (3) 宮城県、各市町村、関係団体が連携し、介護の職場環境改善に取り組むこと

「見える化」は評価や監査とは違い、施設・事業者の人材確保への取り組みを応援し、活用していく仕組みです。

宮城県の独自性は、「介護サービス情報の公表」制度と連携し、・ホップ・ステップ・ジャンプ!の3段階で認証する制度としていることです。

- ・ホップ「宣言」:  
介護サービス情報の公表システムの要件を満たしていることを事業所が確認し、宣言を申請、認証事務局が内容を確認、受理したとき、介護人材育成への取組を「宣言」します。
- ・ステップ「第1段階認証」:  
宣言の内容を3年に一度の公表システムの調査で第三者が内容を確認できたとき、「第1段階」認証となります。
- ・ジャンプ「第2段階認証」:  
認証制度(第2段階)21項目の確認調査で、必須項目の内容が確認できたとき認証「第2段階」認証となります。

各事業所には認証結果に対応した認証書(下図参照)が付与されるほか、協議会ホームページで認証内容が公表されます。



令和3年3月31日現在の段階別認証事業所は「宣言」認定が500事業所、「第1段階宣言」認定が367事業所、「第2段階宣言」認定が25事業所となっています。

宮城県ではこのほか、「サンドウィッチマン」を起用した動画「そのやる気かいGO!!」公開、

ポスター・学生向けリーフレット作成や「介護職週休3日制」モデル事業を支援するなどの取り組みをしています。

参考 出典みやぎ介護人材を育む取組宣言認証制度(第2段階)確認調査員テキスト など

## ◆福祉サービス第三者評価調査者フォローアップ研修

令和3年8月19日講師に宮城県社会福祉協議会地域福祉課から佐藤達也氏、高橋勝彦氏、湯瀬真知子氏を迎え、仙台市市民活動支援センターにおいて開催され、①認定こども園について②平成30年度にチアフルこども園(幼保連携型)を実施してのポイント③利用

者アンケートについて④訪問調査時の留意点等について研修が行われました。



## ◆「地域支え合い推進会議」だより

令和3年9月16日みやぎNPOプラザに於いて「老後の住まいセミナー」の開催延期による今後の展開等を話し合いました。

### 1、「老後の住まいセミナー」の開催について

令和3年8月27日サポートセンターに於いて、開催の予定でしたが「コロナウイルス緊急事態」が発令され、やむなく延期しました。最近では、高齢者入所施設の情報も、インターネット、新聞雑誌、チラシ等で簡単に知る事が出来ますが、全般的な制度、条件、仕組み



等内容まで把握する事は難しい状況にあることから、引き続き展開を図ることとし、今後の開催日程については「新型コロナウイルス感染状況」「調査活動状況」を踏まえ調整の上、別途案内のものとします。

### 2、ライフサポート(仮称)の活動について

公的福祉サービス保険の対象外となるNPOとして出来る範囲の軽度な生活支援活動を行う。例えば家庭で使わなくなった家財道具等不用品の処分、着なくなった衣料品等の処分、家具の移動の援助等今後、このようなサービスが必要とする会員の声を聞き、生活支援活動の展開に向け検討を進めることとします。

## ◆地域密着型サービス外部評価の変更について

令和2年度まで、各事業所は地域密着型サービス外部評価の受審が義務となっておりました。

しかし、令和3年度の制度改正により地域密着型サービス外部評価又は運営推進会議における評価のいずれかを選択して受審することができるようになりました。(詳細については県のホームページを参照)

このことから、事務局担当を中心にして各事業所様に対し、外部評価調査の意義、目

的等の理解に向けた取り組みを強化しております。

### 【訃報】

平成8年の当会立ち上げに参画し、平成16年NPO法人設立時から平成30年まで副代表理事として、当会の発展に御尽力されました「柏倉二男」様が令和3年7月2日逝去されました。享年89歳。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。



## 手話ソングとの出会い

会員 庄司 恵子

私が手話ソングを始めたのは犬を飼い始め散歩に行くようになって、いつも会う方の中に聴覚障がい者がいらしたのです。

とても可愛いワンちゃんなので名前を聞きたいと思うのに、話しかけてもわからないのが悲しくて、友達のサークルに入れてもらったのがきっかけでした。そこで手話ソングがあることを知りました。

聴覚障がい者の方々にも歌が大好きな方が大勢います。リズムや歌詞を楽しんでいるようです。しかし歌詞の通りに手話を付けると分かりにくいものになってしまいます。

歌詞の内容を理解し表現の仕方を皆で考えて、一つの歌を作り上げるのがなかなか難しいのですが、幸い私達を優しく指導して下さる方が元聴覚支援学校の先生で自らも障がい者です。ほとんどはその方に頼っているのが実情ですが出来上がって歌い始めると

とても楽しいです。

とっておきの音楽祭にもドキドキしながら出演させてもらっています。

口の動きも手話には大切な手段なので現在コロナ禍でマスクをしたままの練習ですので、とても難しいです。

しかしそれも又勉強の一端かと冷や汗をかきながら頑張っています。ただ私、歳のせいでしょうか。新しい手話表現を教えてもらってもなかなか覚えられない…。

もっと早く出会っていたら良かったのにと思います。

先日テレビのニュースで小学校の校歌を手話で歌っている光景を見ました。

声を出さずに歌える手話ソングこの時節多くの人に広がっていったら良いと思います。

### ◆◆なんでも相談会のご案内◆◆

法律、成年後見関係の分野に限らず、会員やその家族、知人の方がお持ちの生活全般に関わる「困りごと」「悩みごと」などなんでも相談会です。

令和3年10月から令和4年1月までの開催日程は下記のとおりです。

#### ☆開催日程

- ・10月21日(木) 相談役 武田貴志弁護士
- ・11月16日(火) 相談役 安田廣治司法書士
- ・12月16日(木) 相談役 武田貴志弁護士
- ・1月18日(火) 相談役 安田廣治司法書士

### 【編集後記】

138号より編集委員になりました張間です。私が編集委員でいいのだろうか?と、思わなかったわけでもありませんが前任編集委員の前田さんからの電話で編集委員を引き受けてしまいました。

それは、「失敗は、挑戦した証」という言葉が、心の何処か片隅にあったからです。

とりあえず挑戦。一歩踏み出してみることにしました。

編集会議では流れについていくだけでですが、会議後の雑談でスマホの便利なアプリを教えて貰う等楽しい時間を過ごしています。

インストールして使ってみる。必要がなくても使ってみる。また新しい事への挑戦です。

ちなみに便利なアプリは「レンズ」。写真から詳しい情報を知る事ができます。

花の名前、地名やお菓子の製造元等など外国語の翻訳もしてくれます。なかなか優れモノ(心の声)!

挑戦は、失敗だけでなく「出会いや気づき、頭の活性化」のおまけ付きのようです。

まだ皆さんの顔と名前が一致しませんが、よろしく願います。